南島原市国際交流員

フランチのプレフェリート♥南島原

「イタリアの温泉も最高ですよ～！」

※「プレフェリート」とは、イタリア語で「おすすめ」という意味です。

先月のコラムで説明したように、イタリア人は日本人のように自宅で毎日湯船に浸かる習慣がありません。しかし、イタリアも日本と同じ火山国であり、全土になんと２,０００を越える温泉が湧き出ているといわれています。

日本の映画「テルマエ・ロマエ」でも描かれたように、古代ローマ時代から現在に至るまで「テルメ」（イタリア語で「温泉」という意味）がイタリア人に愛されています。

ところが同じ温泉でも、日本の温泉とは様相がかなり異なります。

まず、イタリアの温泉は、主に治療を行う療養地のイメージが強いということです。特に料金が発生する温泉地の施設であれば、保険が使えるところもあるので、利用者は療養を目的として長期滞在します。そして、そこには、お医者さんや専門家が常駐していて、診察、健康指導など、それぞれの人に適した治療が行われます。例えば温泉への入浴、泥浴、泥療法による各種リウマチの治療、ジェットなどによるマッサージ、呼吸器官治療のための噴射吸入、鉱泉の水を飲む治療方法があります。最近は全身美容のエステティック・サロンとしての役割も果たすようになりました。

また、日本ではあまり見かけないのですが、このような温泉施設とは別に、イタリアでは無料野外天然温泉を楽しむことができます。それは北部から南部までいたるところにありますが、そのうち国内外で良く知られているのは、イタリア中部・トスカーナ州に位置する「サトゥルニア」温泉です。

地元の人はもちろん、若いカップルや欧州を巡る家族連れにも大人気です。幅１メートル前後の滝が２本の滝となり、石灰質の棚田へと流れ落ちていく美しい景色の天然温

泉です。水温は上流で平均37度なので、ぬるめのお湯が好みの人にオススメです。硫黄分をたっぷり含んだお湯は循環器系や皮膚病にも効果があるといわれています。川底の泥は美白効果や若返り効果から美容サロンの製品にもなっています。

イタリア人がこのような野外温泉を訪れる時期は主に春と夏です。夏の海水浴場で過ごすことと同じような感じで、川沿いにパラソルやシートを広げ、ピクニックがてら温泉を楽しみます。

その他、日本の温泉と異なるところは、基本的にイタリアの温泉は男女混浴なので水着で入ります。また、「サトゥルニア」の場合、天然の露天温泉なので更衣室やロッカーはありません。水着を身に着け、帰りは車や草陰でバスローブや大きいバスタオルで体を巻いて着替えることになります。

日本の温泉は有料ですが、必要なものがばっちり完備してあるし、何も持っていかなくてもいつでも楽しむことができるので本当に便利ですよね。

しかし、イタリアの美しい自然を眺めながら、ワイルドな感じでピクニックをしながら、無料の野外天然温泉を満喫するのもいいものですよ。

フランチの「ミナミタリアン料理講座」

受講生募集

問企画振興課　☎73-6631　FAX82-3086
Eメール：chiikiseisaku@city.minamishimabara.lg.jp

イタリアからの国際交流員フランチェスカのイタリア料理講座を開催します。
イタリアの言葉や文化に触れ合いながら本市の食材で楽しくイタリア料理を作ってみませんか。お子様連れでも大丈夫です！※「ミナミタリアン」とは、「南島原イタリアン」という意味。

スモークサーモンとホワイトソースのパスタツナのロールキャベツ

と１月31日㈫　午後７時～９時
ば有家保健センター 調理実習室
定２５人（先着順）
料６００円(参加人数により変更あり)
〆１月24日㈫　午後５時まで
申電話、ＦＡＸ、Ｅメールで申し込んでください。
※ご自宅で消費しきれない野菜がありましたら提供してください(キャベツ、玉ねぎ、など)。

つなごう未来へ！
島原半島ユネスコ世界ジオパーク

ジオパークであり続けるための取り組み

島原半島ユネスコ世界ジオパーク
キャラクター「ジーオくん」

島原半島ユネスコ世界ジオパーク
キャラクター「ジーナちゃん」

問 島原半島ジオパーク協議会　☎０９５７-６５-５５４０

ジオサイト㉜ ～山崩れが生んだ島原名物～「浜の川湧水と銀水」

浜の川湧水（手前）とそこに隣接する「銀水」

海にほど近く、時折潮の匂いを感じる港町の一角に、忽然と湧き出す真水「浜の川湧水」。１００メートルも歩けば海辺になるこの場所に、なぜきれいな真水が湧き出しているのでしょうか。

眉山や普賢岳の山々に降った雨は、地下にしみこみ、長い時間をかけて地層の中を通過してきた後、ミネラルを豊富に含む湧水となって地表や海底に湧き出します。島原の市街地は、たくさんの水をたたえた山々の麓に位置しているため、水が豊富に湧き出します。今、「浜の川湧水」がある場所は、かつては海でした。おそらく湧水も海底に湧き出していたことでしょう。しかし１７９２（寛政４）年５月21日、眉山が強い地震によって大崩壊を起こし、大量の土砂が海を埋め立てました。それまで海だったところが陸地になったため、海底に湧き出していた水が地上に湧き出し、現在の姿になったのです。

海沿いに湧き出す真水は貴重であったことから、水を求めて人が集まり、いつしか港町ができました。１９１５（大正４）年、「浜の川湧水」に隣接するお店が、１年で最も寒い“大寒”の時期にさらしたもち米の粉で作った白玉団子を、湧水で作ったシロップに浸して食べる「かんざらし」を売り出しました。このお店が「銀水」です。「浜の川湧水」を使うからこそ生まれる独特の食感と、甘くて奥深いシロップの味は、眉山の大崩壊がなければ生まれることのなかった、島原の名物です。

かんざらし

次回は、雲仙の「霧氷」を紹介します。

※「銀水」の開店時間は10時～17時。店休日は毎週火曜日。

第８回 島原半島 ユネスコ世界ジオパークセミナー

と１月21日㈯　午前10時～正午
は口之津公民館
内題目…口之津の歴史と文化
●講師…原田　建夫 氏(前口之津歴史民俗史料館長)
問島原半島ジオパーク協議会 ☎65-5540

参加無料

第6回 島原半島ジオパーク検定参加者募集（初級編・中級編）

試験問題は「島原半島ジオパークのことがわかる本」2012年度改訂版から70%以上出題します※１。是非チャレンジして下さい。

と２月５日㈰
午前10時30分～11時30分
ばがまだすドーム
料高校生以上…１,０８０円
中学生以下…５４０円

〆１月23日㈪（必着）
申ジオパーク検定事務局窓口または協議会ホームページで申込用紙を入手し、必要事項を記入のうえ、申し込んでください。
問ジオパーク検定事務局　☎６５-５５４０

※１ 初級編は全問３択問題、中級編は70%が３択問題、30%が筆記問題